

令和6年度 自己評価書

学校名	和歌山市立貴志中学校
校長氏名	中村清司
作成日	令和7年3月6日

1 教育目標

豊かな心情と思いやりの心を持ち、自ら考え、ねばり強く実践する生徒を育てる。

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いた学習環境づくり 生徒一人一人を大切に授業づくり 全国学調生徒質問紙において「わかる授業」を87%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> いじめの早期発見を徹底的に行う。 全国学調生徒質問紙において「いじめは、どんな理由があってもいけない事だと思う」の100%回答を目指す。…① 「学校が楽しい」の90%以上を目指す。…② 	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活において、常に自らの健康と他者の安全を守る意識を育む。 全国学調生徒質問紙において、①「朝食を毎日食べる」②「学校の決まりが守られている」をそれぞれ95%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 全国学調生徒質問紙において、①「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」で、県・国の調査結果に近づける。 ②「教育内容等を保護者に適切に伝えている」を80%以上にする。
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導及びより良い学習環境づくり 基礎基本の確実な定着 主体的対話的で深い学びに向けた授業改善 家庭学習の定着 不登校生徒対応 	<ul style="list-style-type: none"> 特別な授業「道徳」の充実 人権教育の推進 いじめのない集団づくり 規範意識の向上 生徒会活動の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立 体力の向上 情報モラルの充実 危機回避能力の育成 心と体の成長に伴う「性教育」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 「貴志の教育を高める会」活動の充実 家庭、地域と連携充実 学校運営協議会と連携充実 共育コミュニティと連携充実 出前授業「未来スクール」の実施
取組の状況	<ul style="list-style-type: none"> 学習形態の工夫 授業改善の推進 学生ボランティアの充実 朝学朝読の徹底 家庭学習の推進 ステップルーム[SSR]の学習環境充実 	<ul style="list-style-type: none"> いじめアンケートを3回行い、後の教育相談で未然防止、早期発見、早期対応に取り組むことができた。 いじめなくそうデー放送を毎月第1水曜日の朝学活で実施した。 人権特設授業を学期毎に取組み、継続指導を心がけた。 2年生で「未来スクール」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 体育行事の充実を図ると共に計画的に体力向上を目指す。 適宜に情報モラル教室を行い危機回避能力を育成する。 県警によるキッズサポートにより規範意識をさらに高めた。 コロナやインフル感染防止対策に努めた。 生徒への朝食をとる習慣と基本的な生活習慣を促した。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年便り、保健便り、貴志中の輝き、学級通信等による保護者や地域への情報発信。 貴志の教育を高める会や学校運営協議会を通じて地域と連携を密にする。 体育大会や文化発表会など学校行事に地域の方々を招待し交流を深めた。
取組の成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> 研究授業(3名の教員)を実施し、現職教育等で意見交換。 全ての授業ではないが、ICT活用を積極的に行えた。 学びあい授業づくりの改善はもと学校全体のものにする必要がある。 指標アンケートの結果⇒国語:88.7%・数学:64.5% 	<ul style="list-style-type: none"> 情報モラル教室では、関係機関との協力を得ながら取り組めた。 教育相談を年3回実施することでいじめの未然防止ができた。 月に1度の教育相談部会を開きSC.SSWの意見も参考にした。SCやSSWの役割も大きい。 指標アンケート①結果⇒97.6% 指標アンケート②結果⇒92.3% 	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練は予定通り行うことができた。生徒の防災意識を高めていく活動を行いたい。 朝食を毎日食べる生徒確率の指標に、少し及ばなかった。生徒や保護者にも積極的に啓発が必要である。 指標アンケート①結果⇒89.9% 指標アンケート②結果⇒89.7% 	<ul style="list-style-type: none"> 「ぐるりんメール」で保護者宛の配布物をその都度活用した。 小学校、子ども会との交流及び連携をスムーズに図ることができた。そして、生徒理解を一層深めることができた。 指標アンケート①結果⇒67.4%(県:76.4% 国:76.1%) 指標アンケート②結果⇒71.4%
改善方法	<ul style="list-style-type: none"> 学習意欲を高める授業のために、ICT機器をもっと積極的に取り入れ、学力向上に取り組む。 読解力や表現力をつけるため、朝読にも取り組んでいきたい。 別室(ステップルーム)登校生徒への更なる配慮を行い、不登校生徒をなくしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 人権・同和教育推進のため、内容や方法を工夫して改善を図りながら進めたい。さらなる研修も深めたい。 職場体験学習を2年生で、キャリア教育「未来スクール」(出前授業)を1年生で定着していきたい。 生徒会主催「挨拶運動」を更に活性化させ豊かな心の育成に繋げる。 お昼の放送などで、生徒会が工夫してくれている。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣と朝食を毎日食べる習慣をつけ、上記指標の95%を目標に取り組んでいきたい。 学校のルールを守るといった規範意識を高めままでキープしたい。 SNS上のトラブルが依然として発生している。啓発を行いながら、事前の防止と早期発見に努め、自らの危機回避能力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ぐるりんメール」を活用する。 生徒の地域活動への参加を更に拡大できるように積極的に進めていきたい。 「貴志の里」展をぜひとも復活させ、地域交流を深めたい。 共育コミュニティの活動を更に周知し活用できるよう取り組む。

3 その他の課題

・生徒の読書離れを食い止めるため、引き続き、朝読の推進と図書ホール活用を進め、読解力の向上や表現力アップにつながるようにする。同時にタブレット端末などのICT機器を積極的に取り入れた授業を進めていきたい。

・いじめのない学校学級づくりを推し進め、特設授業だけでなく、道徳や人権意識を高める教科での授業づくりをしていかなければならない。また、SNSによるトラブルもあり、あらゆる場面で生徒や保護者に啓発指導が必要である。

・不登校生徒対応として、関係機関だけでなく、今年度から全市で、SSR[ステップルーム]が本格的に開室した。今後は活用について、積極的な指導教員の配置とICTを含めた指導内容の充実と考えている。